

TRAIL

いわき市の経済・景気の動き

経済・景気動向調査報告「トレイル」

第90号 令和7年9月16日発行

いわき市産業振興部

【全国景気動向】“緩やかな回復”を据え置き！ 先行きは米関税政策の影響と持続する国内物価の上昇などが“景気下押しリスク”！

● 令和7年第Ⅱ四半期の実質 GDP(1次速報値*)
8/15)は前期比0.3%増(年率換算1.0%増)と、5期連続のプラス。個人消費は夏物衣服等の増加で、設備投資はソフトウェア等の投資で、ともに前期並み。輸出は電子部品等で、輸入は原油等で、ともに増加。米関税政策は、年後半の設備投資に影響する可能性がある。

*2次改定(9/8)は0.5%(年率2.2)に上方修正。個人消費上振れ。

●「月例経済報告(8月)」の基調判断(8/28)は、

“緩やかに回復”を据え置いた。ただし企業収益は、米関税政策の影響で“改善に足踏み”に引き下げた。

先行きは、米関税政策の影響と、継続する物価上昇の個人消費に与える影響が、景気の下振れリスクになるとした。

25/4-6月期GDP(%)		
区分	前期	今期
GDP(実質) (年率換算)	0.1 (0.6)	0.3 (1.0)
個人消費	0.2	0.2
設備投資	1.0	1.3
政府消費	▲0.5	0.0
公共投資	0.1	▲0.5
輸 出	▲0.3	2.0
輸 入	2.9	0.6

前期は確定値。Q＝四半期。

月例経済報告(25/8)の概要		
基調判断	穏やかに回復	
個人消費	持ち直しの動き	
設備投資	持ち直しの動き	
住宅投資	このところ弱含み	
輸 入	おおむね横ばい	
輸 出	持ち直しの動き	
生 産	横ばい	
企業収益	改善に足踏み	
雇用情勢	改善の動き	
消費者物価	上昇している	
先行き判断	米関税政策の影響と物価上昇の下振れリスク	

注：太字は対前月で修正された内容。

【いわき市景気動向】“一旦小休止”から“やや弱み”に！ 先行きは、全国動向と同様の下振れリスクが懸念される！

前期に“一旦小休止”だったいわき市の景気は、今期に至って“やや弱み”に転じた。「景気ウォッチャー調査」(R7/8)の【先行きDI】は、全分野で前時点(R7/3)に引き続き判断の境目となる50割を割れている。いずれも、今なお続く物価高による消費意欲の減退と年後半からの米国の関税政策の影響を憂慮したものとなっている。

● 経済・景気調査

【需要動向】大型店舗販売は前年同期比は微減が続いており力強さにかける。自動車登録と観光施設利用者は微増、他の2項目は大幅減。

【企業動向】卸売市場取扱が微増。信用協会代位弁済が微増(＝悪化)、他の2項目も減少。企業倒産件数は6件。

【雇用動向】新規求人倍率、有効求人倍率とも低倍率で、雇用情勢にやや陰りがみえる。

● 景気ウォッチャー調査(令和7年8月)

【現状DI】全業種は43.4割と50割を割れ。分野別でも企業の50.0割以外、家計の43.5割等全て過半割れ。

【先行きDI】全業種のほとんどが過半割れの40割台。中で住宅の割れ幅が大きい。

【自由意見】物価高の悪影響に関するものが多い。

いわき市の動向(R7/4-6月)

区分	前期%	今期%
個人消費	▲2.4	▲0.6
自動車登録	15.0	4.4
新設住宅	27.7	▲51.9
公共工事	199.0	▲49.5
観光施設利用者	1.6	2.0
卸売市場取扱	▲2.3	1.6
輸入通関実績	21.2	▲14.5
協会代位弁済	15.3	1.9
法人市民税	32.6	▲12.6
企業倒産件数	5件	6件
新規求人倍率	1.60倍	1.77倍
有効求人倍率	1.18倍	1.04倍

注：前年同期比。企業倒産件数は各期の合計。雇用はR7/3月とR7/3月時点。

景気ウォッチャー調査抜粋(R7/8)

区分	現状判断DI		先行き判断DI	
	今回	割差	今回	割差
全業種	43.4	3.6	41.2	0.6
家計	43.5	2.2	41.3	0.0
小売	42.7	5.2	41.7	▲1.0
飲食	43.8	▲1.2	43.8	3.8
サービス	46.2	▲0.5	42.3	0.6
住宅	40.0	0.0	35.0	0.0
企業	50.0	14.6	45.8	8.3
雇用	33.3	0.0	35.0	▲6.7

目次

【全国景気動向】“緩やかな回復”を据え置き！ 先行きは米関税政策の影響と持続する国内物価の上昇などが“景気下押しリスク”！

【いわき市景気動向】“一旦小休止”から“やや弱み”に！ 先行きは、全国動向と同様の下振れリスクが懸念される！

【経済・景気四方山話】全国5件、いわき発1件

I 経済・景気調査：令和7年第Ⅱ四半期(4～6月)

1. 経済の動き(主要部門別・主要経済データ) . . . 3
2. 景気の動き(景気動向指数) 9

【参考】- 景気動向指数の内容 - 国・県の動き

II 景気ウォッチャー調査：令和7年8月時点 16

(産業チャレンジ課)

【経済・景気四方山記事】

(原情報の要約、意訳や筆者の解釈・所感等を含む)

● 海から始まる新しい経済 — “ブルーエコノミー”の取り組み！ —

(本記事は先号の優先順で記載から漏れたが、内容は重要で、経年劣化していないので本号に掲載する)

経済発展を環境保全の両立を目指す“ブルーエコノミー”は地域創生の武器となる。日経グループは、22年に“NIKKEI ブルーオーシャン・フォーラム”を立ち上げた。例えば、①養殖(食料自給率向上等)、②海藻(食品、燃料、薬品生産)、③深海(資源探査等)などへの取り組みが期待される。すでに世界が注目する久米島モデルをはじめとして、長崎県、北海道寿都真智、岩手県、神奈川県三浦等で取り組んでいる。本市がこれに取り組む意義は高いと考える。(25/5/20 日経・特集)

● インフラ管理、連携進化を！

インフラの老朽化が進む中で、国交省が「地域インフラ群再生マネジメント」を打ち出した。市町村の枠を超えて、広域で維持管理をする構想である。現行の自治制度では、「連携中枢圏都市圏」や「定住自治圏」のような広域連携する仕組みがあるが、職員研修やイベントの共同開催などが中心でインフラ面が少ないのが実情。連携が進まないのは財源面の調整が難しいほか、管理者権限という法律問題もある。例として国交省は、4月、道路法を改正して「連携協力道路制度」を創設し、自治体間で協議して定めれば、点検や修繕等を「他の自治体が代行できる制度」を掲げるなど法律のハードルを低くする試みも進んである。人口は減ってもインフラの総量が減らないため、広域連携の深化が欠かせない。(25/6/26 日経)

● 移住促進の組織統合！

7/1、地方への移住促進を手掛けてきた「認定 NPO 法人ふるさと回帰支援センター(東京都・千代田)」と「公益社団法人ふるさと回帰・移住交流促進機構(同)」は、両組織の知見を一本化し、地方移住に関する情報提供などを強化するため、組織統合した。略称は“JOIN-FURUSATO”。自治体や企業等と連携し、地方創生に取り組む。(25/7/2 日経・特集)

● “関係人口”が若者層で 20%強増加！

6/27、国交省は、「地域との関わりについてのアンケート」を発表した。これによると、23年時点で全国の18歳以上の居住者約10,275万人のうち、約2,263万人(約20%強)が“関係人口”とされる。“関係人口”とは、“移住や観光で

もなく、日常生活圏や通勤圏以外の特定の地域と継続的かつ多様な関りを持つ人”である。

調査結果の概要は、①生活や通勤などを除く“訪問系”は飲食等「趣味・消費型」が多い、②“関係人口”は三大都市圏を除く「その他の地域」への流動が多い、③“訪問系”の年間訪問日数は「2~7日/年」が49%で最も多い、④“関係人口”になるには「時間的な余裕の確保」、「移動や滞在に伴う金銭的負担の軽減」等の改善が必要、⑤地域までの主な交通手段は「自家用車」が圧倒的など。以上は、今後の地域振興の指針に有用である。

(25/7/11 日経。一部国交省発表資料による)

● 地域のミスコン、コンシェルジュも！

地域のイベント、観光、特産品のPR役を決めるミスコンテストに変化の波が押し寄せている。’80年代から女性の容姿や若さの優劣をつけることが問題視されるようになり、性別を不問にしたり*、未婚の要件を廃止したりする動きが広まっている。

以下に挙げられる事例から、その動きが見とれる。①小樽コンシェルジュ(ミス小樽から変更。既婚女性も可能。性別不問)、②ミス花笠(山形市。性別不問既婚者も可能)、③観光特使ひまわり(伊勢崎市。ミスを取る名称変更。性別不問、既婚者の可能)、④姫路お城のアンバサダー(姫路お城の女王の名称変更。性別不問)。

いずれにしても、効果的に魅力を発信するのにふさわしい地域の顔のどう選ぶか、手法を考え直す機会を語っている。(25/8/4 日経)

* 筆者は、’86の釧路霧フェスティバルで、ミセスを含んだコンテストの審査委員長を務めたことがある。今思えば嚙矢だが、判断基準で随分悩んだ。

● 【いわき市発】小名浜港へのアクセス短縮！

— 小名浜道路が開通！

R7/8/7、小名浜港と常磐自動車道を結ぶ自動車専用道路“小名浜道路”が開通した。この道路は福島県が整備する「ふくしま復興再生道路」のひとつでもある。常磐自動車道から小名浜港までの所要時間は、約30分から約13分と半分以下に短縮され、利用者数は、一日1万3800台が見込まれる。

このアクセス向上により、物流の強化や交流人口の拡大、大規模災害時の円滑な緊急輸送確保などの効果が期待される。(25/9/1 産業チャレンジ課)

東日本国際大学名誉教授 大川信行

I 経済・景気調査：令和7年第Ⅱ四半期（4～6月）

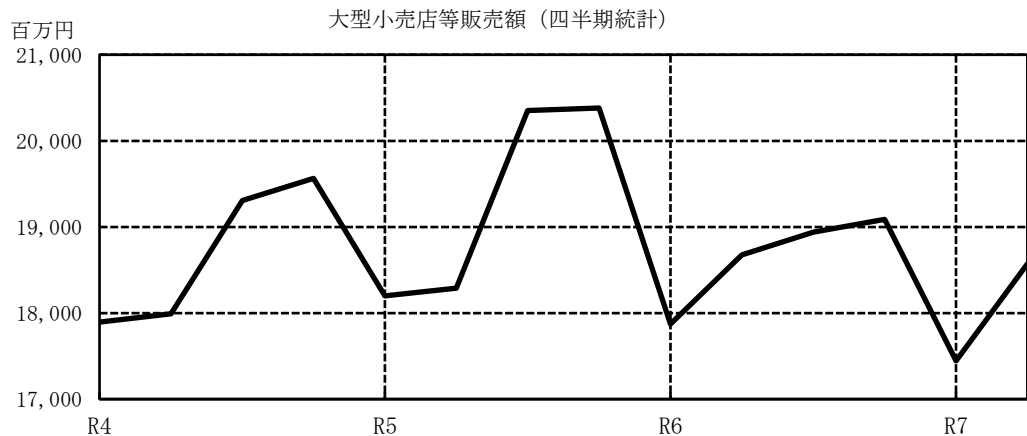
1 いわき市の経済の動き

（1） 主要部門の動向（令和7年第Ⅱ四半期（4～6月）の状況）

① 需要動向

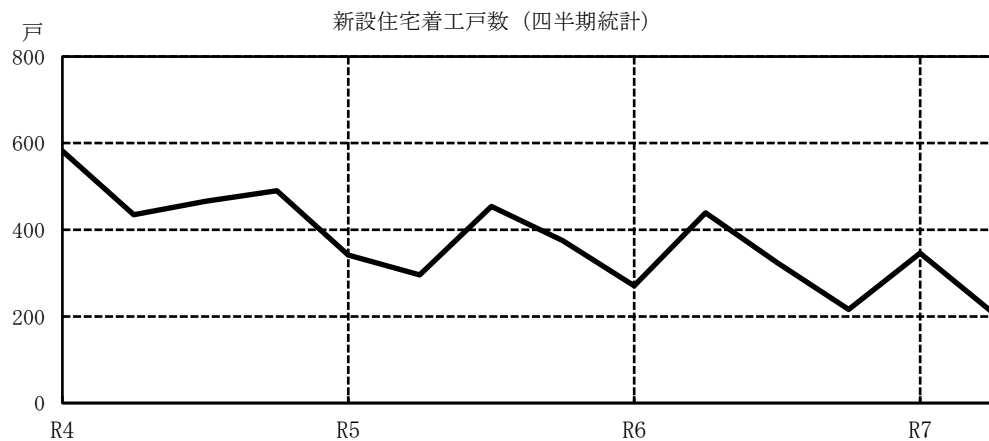
【個人消費】 ○ 第Ⅱ四半期（4～6月）の大型小売店等販売額は約186億円（前年同期比0.6％の減少）となり、4四半期連続で前年の水準を下回った。

○ 自動車新規登録台数は3,583台（前年同期比4.4％の増加）となり、2四半期連続で前年の水準を上回った。



【建設需要】 ○ 新設住宅着工戸数は211戸（前年同期比51.9％の減少）となり、2四半期振りに前年の水準を下回った。

○ 公共工事等受注額は約37.7億円（前年同期比49.5％の減少）となり、2四半期振りに前年の水準を下回った。

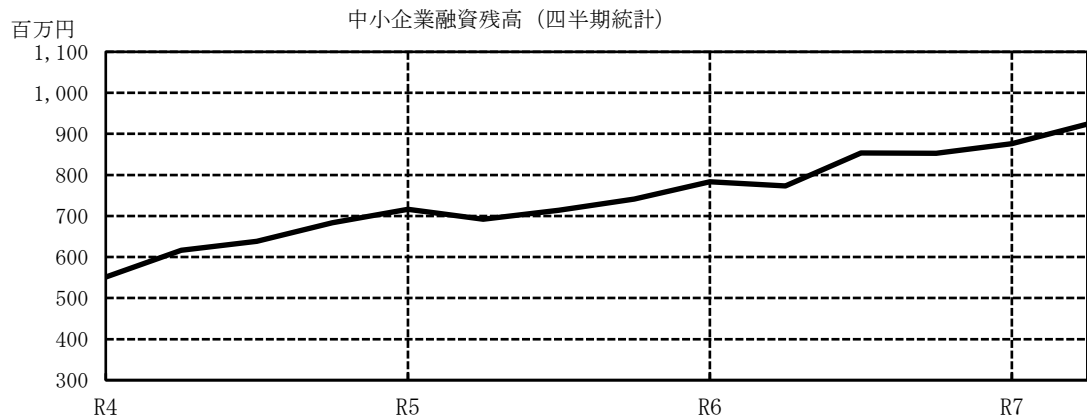


【観光需要】 ○ 観光施設利用者指数は、77.0（前年同期比2.0％の上昇）となり、2四半期連続で前年の水準を上回った。

② 企業動向

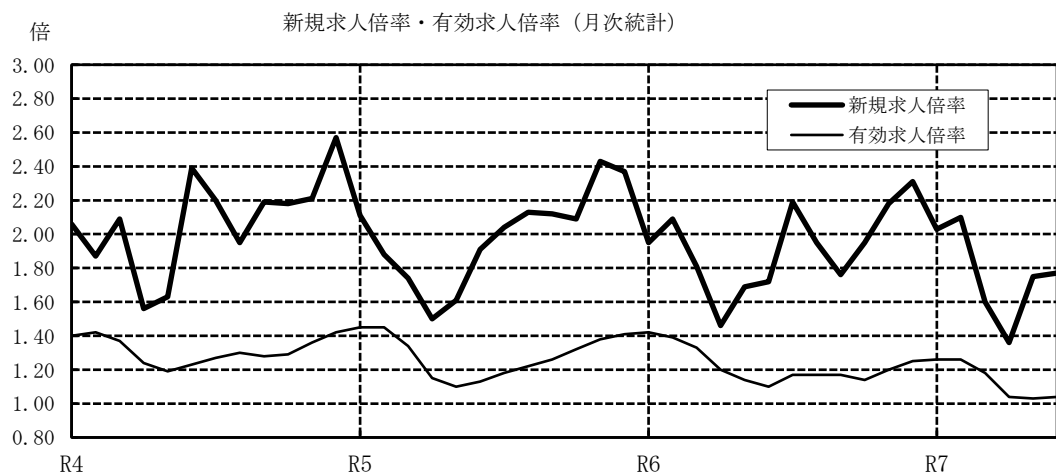
- 第Ⅱ四半期（4～6月）のいわき市中央卸売市場取扱高は約35.0億円（前年同期比1.6%の増加）となり、6四半期振りに前年の水準を上回った。

- 【企業活動】
- いわき市中小企業融資残高は約9.2億円（前年同期比19.4%の増加）となり、令和4年第2四半期以降、13四半期連続で前年の水準を上回った。
 - 負債1千万円以上の企業倒産件数は6件（前年同期比14.3%の減少）となり、2四半期連続で前年の水準を下回った。



③ 雇用情勢

- 【雇 用】
- 6月の新規求人倍率は1.77倍（前年同月より0.05ポイントの上昇）となり、2ヵ月連続で前年の水準を上回った。
 - 6月の有効求人倍率は1.04倍（前年同月より0.06ポイントの低下）となり、13ヵ月連続で前年の水準を下回った。
 - 第Ⅱ四半期（4～6月）の雇用保険受給者実人員は3,331人（前年同期比1.6%の増加）となり、2四半期振りに前年の水準を上回った。



(2) 主要経済データ

区 分	需要動向													
	個人消費				建設需要						観光需要			
	大型小 売店等 販売額	前年 同期比	自動車 新規登 録台数	前年 同期比	新設住 宅着工 戸数	前年 同期比	建築確 認申請 受付件 数	前年 同期比	公共工 事等受 注額	前年 同期比	観光施設利 用者指数 (H24・四 半期平均 =100)	前年 同期比	入湯税 調定人 員	前年 同期比
年 月	(百万円)	(%)	(台)	(%)	(戸)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)		(%)	(人)	(%)
【年次統計】														
令和2年	76,999	2.8	18,105	-14.2	2,001	21.6	995	-8.2	47,501	5.2	195	-47.0	359,932	-43.8
令和3年	75,051	-2.5	16,318	-9.9	1,911	-4.5	1,077	8.2	87,871	85.0	177	-9.2	301,384	-16.3
令和4年	74,755	-0.4	15,143	-7.2	1,973	3.2	1,176	9.2	34,321	-60.9	271	53.1	407,735	35.3
令和5年	77,220	3.3	17,639	16.5	1,467	-25.6	1,310	11.4	25,367	-26.1	352	30.1	548,789	34.6
令和6年	74,574	-3.4	15,574	-11.7	1,250	-14.8	1,344	2.6	28,591	12.7	344	-2.5	550,533	0.3
【四半期統計】														
令和5年 III	20,353	5.4	4,114	12.9	454	-2.6	385	22.6	7,307	-45.1	110.1	15.7	139,990	14.1
IV	20,381	4.2	4,492	18.9	375	-23.5	327	-0.6	8,412	75.7	110.1	57.8	143,904	30.8
令和6年 I	17,873	-1.8	4,012	-21.3	271	-20.8	314	30.3	8,071	136.5	68.7	11.5	131,586	-7.8
II	18,675	2.1	3,433	-12.8	439	48.3	354	-0.8	7,461	19.7	75.5	6.8	126,066	3.2
III	18,939	-6.9	4,232	2.9	324	-28.6	359	-6.8	9,004	23.2	120.8	9.7	147,307	5.2
II	19,088	-6.3	3,939	-12.3	216	-42.4	317	-3.1	4,054	-51.8	78.7	-28.5	145,574	1.2
令和7年 I	17,444	-2.4	4,612	15.0	346	27.7	335	6.7	24,131	199.0	69.9	1.6	127,397	-3.2
II	18,570	-0.6	3,583	4.4	211	-51.9	232	-34.5	3,765	-49.5	77.0	2.0	132,005	4.7
【月次統計】														
令和5年4月	6,058	2.2	1,292	23.4	87	-61.2	102	-8.1	1,234	-27.2	20.1	20.3	45,605	66.0
5月	6,235	1.9	1,234	27.5	66	-2.9	113	79.4	491	209.5	29.2	10.4	37,374	29.2
6月	5,995	0.8	1,409	26.6	143	0.0	142	18.3	4,510	17.7	21.3	10.0	39,202	30.2
7月	6,809	4.5	1,315	8.0	123	-34.6	146	80.2	2,775	-39.9	29.7	14.3	36,886	17.2
8月	7,148	6.1	1,176	18.3	119	19.0	133	13.7	1,479	-64.4	54.8	25.0	40,640	9.3
9月	6,396	5.7	1,623	13.4	212	19.1	106	-8.6	3,053	-32.9	25.6	1.2	62,464	15.5
10月	6,372	1.6	1,645	36.1	110	-25.2	110	-5.2	4,749	84.0	29.7	18.5	46,919	5.9
11月	6,112	-1.0	1,585	13.7	150	25.0	120	3.4	2,046	74.7	54.8	151.7	49,675	14.7
12月	7,897	10.9	1,262	7.5	115	-48.4	97	0.0	1,617	56.0	25.6	11.6	47,310	111.4
令和6年1月	5,941	-3.1	1,203	-16.6	92	3.4	92	12.2	1,594	638.0	21.3	12.2	43,048	-26.3
2月	5,741	1.8	1,184	-23.5	84	-14.3	98	7.7	383	-44.0	20.5	19.6	40,149	11.9
3月	6,190	-3.7	1,625	-22.9	95	-38.7	124	82.4	6,094	142.5	26.9	5.5	48,389	0.0
4月	6,086	0.5	1,124	-13.0	174	100.0	124	21.6	1,418	14.9	22.1	9.9	52,099	14.2
5月	6,318	1.3	1,076	-12.8	126	90.9	129	14.2	1,265	157.6	28.9	-0.9	38,612	3.3
6月	6,271	4.6	1,233	-12.5	139	-2.8	101	-28.9	4,778	5.9	24.4	14.4	35,355	-9.8
7月	6,186	-9.2	1,479	12.5	81	-34.1	126	-13.7	2,918	5.1	31.9	7.5	41,179	11.6
8月	6,848	-4.2	1,152	-2.0	119	0.0	123	-7.5	1,905	28.8	57.7	5.3	45,341	11.6
9月	5,905	-7.7	1,601	-1.4	124	-41.5	110	3.8	4,182	37.0	31.2	21.8	60,787	-2.7
10月	5,923	-7.0	1,431	-13.0	47	-57.3	118	7.3	2,355	-50.4	26.9	-9.4	46,815	-0.2
11月	5,821	-4.8	1,390	-12.3	87	-42.0	103	-14.2	1,102	-46.2	27.1	-50.6	50,690	2.0
12月	7,344	-7.0	1,106	-12.4	82	-28.7	96	-1.0	598	-63.0	24.7	-3.5	48,069	1.6
令和7年1月	5,716	-3.8	1,367	13.6	76	-17.4	109	18.5	226	-85.8	22.5	5.3	43,430	0.9
2月	5,510	-4.0	1,452	22.6	110	31.0	105	7.1	535	39.7	20.3	-1.0	38,208	-4.8
3月	6,218	0.5	1,793	10.3	160	68.4	121	-2.4	23,370	283.5	27.1	0.7	45,759	-5.4
4月	6,001	-1.4	1,117	-0.6	84	-51.7	65	-47.6	1,642	15.8	21.6	-2.3	50,504	-3.1
5月	6,254	-1.0	1,138	5.8	40	-68.3	73	-43.4	799	-36.9	30.1	4.0	41,623	7.8
6月	6,315	0.7	1,328	7.7	87	-37.4	94	-6.9	1,324	-72.3	25.3	3.6	39,878	12.8
出典：	いわき市産業 チャレンジ課		いわき自動車検査登 録事務所、全国軽自 動車協会連合会いわ き支所		県土木部		市建築指導課		いわき市建設業協 同組合、(社)福島 県建設業協会いわ き支部		いわき市産業 チャレンジ課(市内 主要観光施設 の利用者数を 指数化)		いわき市市民 税課	

(注) ーは「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区 分	企業動向													
	生産活動				企業活動									
	いわき市 中央卸売 市場取扱 高	前年 同期比	小名浜港 輸入通関 実績	前年 同期比	いわき 市中小 企業融 資残高		いわき 市中小 企業融 資利率		信用保 証承諾 額		信用保 証協会 代位弁 済		法人市 民税調 定額	
					（百万円）	（％）	（％）	（％p）	（百万円）	（％）	（百万円）	（％）	（百万円）	（％）
年 月	（百万円）	（％）	（百万円）	（％）	（百万円）	（％）	（％）	（％p）	（百万円）	（％）	（百万円）	（％）	（百万円）	（％）
【年次統計】														
令和2年	13,550	5.1	321,606	-6.9	781	-22.5	2.13	0.1	67,962	221.6	560	-41.9	4,199	2.4
令和3年	13,930	2.8	355,137	10.4	593	-24.1	2.06	-0.1	37,047	-45.5	220	-60.7	3,312	-21.1
令和4年	14,883	6.8	624,189	75.8	622	5.0	1.77	-0.3	21,406	-42.2	738	234.8	3,577	8.0
令和5年	16,040	7.8	530,374	-15.0	716	15.0	1.62	-0.2	26,677	24.6	932	26.3	3,359	-6.1
令和6年	14,866	-7.3	519,144	-2.1	816	14.0	2.00	0.4	25,846	-3.1	1,675	79.8	3,298	-1.8
【四半期統計】														
令和5年Ⅲ	4,011	8.1	140,384	-15.8	714	11.8	1.99	-0.04	6,906	16.8	255	5.2	857	17.9
Ⅳ	4,843	2.6	103,454	-46.6	741	8.4	1.28	-0.50	6,450	17.5	337	86.7	1,016	-14.8
令和6年Ⅰ	3,440	-0.2	104,991	-31.4	783	9.4	1.97	-0.02	6,270	-26.3	334	49.5	452	-9.9
Ⅱ	3,442	-8.0	145,149	8.7	774	11.8	1.98	0.77	6,120	27.1	254	117.3	1,060	7.6
Ⅲ	3,302	-17.7	138,088	-1.6	854	19.6	1.90	-0.09	6,803	-1.5	612	140.1	900	5.0
Ⅱ	4,682	-3.3	130,916	26.5	853	15.0	2.16	0.88	6,654	3.2	475	41.1	886	-12.8
令和7年Ⅰ	3,360	-2.3	127,219	21.2	877	12.0	1.74	-0.22	5,864	-6.5	385	15.3	599	32.6
Ⅱ	3,495	1.6	124,096	-14.5	924	19.4	1.97	-0.01	6,628	8.3	259	1.9	926	-12.6
【月次統計】														
令和5年4月	1,217	6.7	38,877	-28.9	701	21.0	1.03	-0.18	1,116	20.4	1	-	151	32.6
5月	1,260	15.3	47,170	-7.5	694	10.2	1.55	-0.13	1,655	32.9	116	205.3	304	7.5
6月	1,264	18.3	47,535	-13.8	681	6.5	1.05	-0.05	2,044	57.4	0	-100.0	530	-33.9
7月	1,375	7.8	42,781	-7.5	679	7.4	2.10	-0.02	2,799	64.4	215	110.1	400	16.8
8月	1,334	4.4	42,704	-29.1	703	11.8	1.95	-0.25	2,343	66.1	33	678.3	370	25.6
9月	1,302	12.4	54,899	-8.9	760	15.9	1.92	0.15	1,764	-37.0	7	-94.8	86	-3.2
10月	1,303	3.7	19,947	-70.5	750	9.8	1.50	-0.20	1,862	31.1	158	12.5	138	22.6
11月	1,334	4.2	33,244	-40.9	731	8.5	1.28	-0.93	1,565	4.6	148	2,037.8	792	-20.3
12月	2,206	1.0	50,263	-28.2	743	7.0	1.05	-0.38	3,024	17.6	30	-7.6	86	-1.4
令和6年1月	1,038	-4.7	35,018	-30.5	787	12.4	1.70	-0.30	1,776	16.2	217	10,712.8	103	13.1
2月	1,170	9.2	28,343	-37.7	776	5.8	2.00	-0.20	2,033	-11.4	91	1.5	124	-0.7
3月	1,232	-4.1	41,630	-27.1	787	10.0	2.20	0.44	2,460	-47.4	25	-80.7	225	-21.2
4月	1,210	-0.6	54,637	40.5	755	7.7	1.89	0.86	1,412	26.6	56	7,180.1	157	3.9
5月	1,157	-8.2	39,120	-17.1	771	11.2	2.20	0.65	1,840	11.2	60	-48.2	310	2.0
6月	1,075	-14.9	51,392	8.1	794	16.7	1.86	0.81	2,867	40.3	138	-	594	11.9
7月	1,252	-9.0	46,180	7.9	850	25.2	2.05	-0.05	2,653	-5.2	448	108.3	440	10.1
8月	868	-34.9	48,594	13.8	857	22.0	2.20	0.25	1,651	-29.5	133	305.2	350	-5.6
9月	1,182	-9.2	43,314	-21.1	855	12.5	1.44	-0.48	2,499	41.7	31	341.7	110	27.3
10月	1,195	-8.3	51,063	156.0	857	14.2	2.20	0.70	2,190	17.6	179	13.3	112	-18.7
11月	1,336	0.1	37,802	13.7	857	17.3	2.20	0.93	1,996	27.6	103	-30.4	689	-13.0
12月	2,151	-2.5	42,051	-16.3	843	13.5	2.07	1.02	2,467	-18.4	193	539.4	85	-1.5
令和7年1月	1,078	3.9	52,449	49.8	863	9.7	1.64	-0.06	1,660	-6.6	41	-81.1	105	1.4
2月	1,077	-7.9	37,805	33.4	856	10.3	1.64	-0.36	2,115	4.1	200	119.3	116	-6.2
3月	1,205	-2.2	36,965	-11.2	911	15.8	1.96	-0.24	2,088	-15.1	144	467.6	378	68.3
4月	1,167	-3.5	40,659	-25.6	905	19.8	2.20	0.32	1,580	11.8	205	266.6	104	-33.3
5月	1,210	4.5	37,442	-4.3	926	20.1	1.63	-0.58	2,203	19.7	3	-95.5	253	-18.4
6月	1,119	4.1	45,994	-10.5	941	18.5	2.08	0.22	2,845	-0.8	51	-62.8	569	-4.1
出典：	いわき市中央卸売市場（水産）		財務省貿易統計		いわき市産業チャレンジ課（年次統計は12カ月の平均値、四半期統計は3カ月の平均値） ”-”は実績なし。実績ない月は平均値算出から除く。				福島県信用保証協会				いわき市市民税課（法人税割）	

（注）-は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。

四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区 分	企業動向									
	倒産				中小企業DI調査					
	企業倒産件数		企業倒産負債総額		製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合(全業種)
	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比						
年 月	(件)	(%)	(百万円)	(%)						
【年次統計】										
令和2年	14	0.0	1,186	-28.9	-	-	-	-	-	-
令和3年	10	-28.6	1,375	15.9	-	-	-	-	-	-
令和4年	13	30.0	1,714	24.7	-	-	-	-	-	-
令和5年	16	23.1	4,649	171.2	-	-	-	-	-	-
令和6年	31	93.8	5,110	9.9	-	-	-	-	-	-
【四半期統計】										
令和5年 Ⅲ	2	0.0	165	20.4	-	-	-	-	-	-
Ⅳ	6	0.0	1,518	190.8	-	-	-	-	-	-
令和6年 Ⅰ	8	166.7	1,480	1,457.9	-	-	-	-	-	-
Ⅱ	7	40.0	1,982	-31.0	-	-	-	-	-	-
Ⅲ	10	400.0	1,081	555.2	-	-	-	-	-	-
Ⅳ	6	0.0	567	-62.6	-	-	-	-	-	-
令和7年 Ⅰ	5	-37.5	395	-73.3	-	-	-	-	-	-
Ⅱ	6	-14.3	339	-82.9	-	-	-	-	-	-
【月次統計】										
令和5年4月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
6月	5	400.0	2,871	501.9	-14.2	-10.0	-18.2	-70.0	-11.1	-22.1
7月	1	0.0	15	-88.2	-	-	-	-	-	-
8月	1	0.0	150	1,400.0	-	-	-	-	-	-
9月	0	-	0	-	-23.4	-37.5	-27.3	-50.0	-12.5	-28.3
10月	2	-33.3	270	22.7	-	-	-	-	-	-
11月	3	50.0	516	76.7	-	-	-	-	-	-
12月	1	0.0	732	7,220.0	-24.1	16.6	0.0	-44.4	0.0	-16.6
令和6年1月	3	-	320	-	-	-	-	-	-	-
2月	4	-	650	-	-	-	-	-	-	-
3月	1	-66.7	510	436.8	-6.9	0.0	-41.7	-20.0	-12.5	-14.7
4月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	5	-	1,390	-	-	-	-	-	-	-
6月	2	-60.0	592	-79.4	-18.7	-44.5	0.0	-11.1	-14.3	-17.7
7月	3	200.0	129	760.0	-	-	-	-	-	-
8月	1	0.0	60	-60.0	-	-	-	-	-	-
9月	6	-	892	-	-6.5	0.0	-15.4	0.0	-11.1	-7.2
10月	3	50.0	321	18.9	-	-	-	-	-	-
11月	3	0.0	246	-52.3	-	-	-	-	-	-
12月	0	-100.0	0	-100.0	-14.8	-11.1	-16.6	-12.5	0.0	-12.3
令和7年1月	2	-33.3	243	-24.1	-	-	-	-	-	-
2月	3	-25.0	152	-76.6	-	-	-	-	-	-
3月	0	-100.0	0	-100.0	-25.0	-25.0	-14.3	-27.3	-10.0	-21.3
4月	1	-	130	-	-	-	-	-	-	-
5月	1	-80.0	54	-96.1	-	-	-	-	-	-
6月	4	100.0	155	-73.8	-28.1	-50.0	-30.8	-20.0	-22.2	-29.7
出典：	東京商工リサーチ（負債総額1,000万円以上）				福島県産業振興センター(前年同月比で「良化」-「悪化」社数構成比(各月末時点)) 平成17年4月以降3ヵ月毎に調査					

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区 分 年 月	雇用						その他					
	新規 求人 倍率		有効 求人 倍率		雇用保 険受給 者実人 員		高速道 路出入 交通量		いわき市景気ウォッチャー調査(先行きD I)			
	(倍)	前年 同期比 (%p)	(倍)	前年 同期比 (%p)	(人)	前年 同期比 (%)	(千台)	(%)	家計動向	企業動向	雇用関連	総合
【年次統計】												
令和2年	1.91	-0.23	1.33	-0.24	15,827	17.4	7,760	-16.7	-	-	-	-
令和3年	1.99	0.08	1.29	-0.04	14,808	-6.4	7,427	-4.3	-	-	-	-
令和4年	2.02	0.03	1.31	0.03	14,068	-5.0	7,855	5.8	-	-	-	-
令和5年	1.97	-0.05	1.27	-0.04	13,914	-1.1	8,331	6.1	-	-	-	-
令和6年	1.88	-0.09	1.18	-0.09	13,340	-4.1	8,626	3.5	-	-	-	-
【四半期統計】												
令和5年 III	-	-	-	-	3,796	-2.3	2,218	6.2	-	-	-	-
IV	-	-	-	-	3,385	-1.9	2,159	4.5	-	-	-	-
令和6年 I	-	-	-	-	3,075	-4.5	2,038	5.3	-	-	-	-
II	-	-	-	-	3,280	-6.6	2,100	4.1	-	-	-	-
III	-	-	-	-	3,600	-5.2	2,299	3.7	-	-	-	-
II	-	-	-	-	3,385	0.0	2,189	1.4	-	-	-	-
令和7年 I	-	-	-	-	3,070	-0.2	1,985	-2.6	-	-	-	-
II	-	-	-	-	3,331	1.6	2,057	-2.0	-	-	-	-
【月次統計】												
令和5年4月	1.50	-0.06	1.15	-0.09	1,083	-2.3	663	2.5	-	-	-	-
5月	1.61	-0.02	1.10	-0.09	1,202	10.9	702	5.4	61.3	45.3	50.0	56.9
6月	1.91	-0.48	1.13	-0.10	1,228	-4.9	653	1.7	-	-	-	-
7月	2.04	-0.16	1.18	-0.09	1,258	0.2	733	6.4	-	-	-	-
8月	2.13	0.18	1.22	-0.08	1,326	-3.1	800	10.1	56.1	36.7	53.6	51.8
9月	2.12	-0.07	1.26	-0.02	1,212	-3.8	684	1.9	-	-	-	-
10月	2.09	-0.09	1.32	0.03	1,225	2.3	721	2.3	-	-	-	-
11月	2.43	0.22	1.38	0.02	1,111	-2.5	719	5.8	54.2	38.3	50.0	50.4
12月	2.37	-0.20	1.41	-0.01	1,049	-5.8	719	5.6	-	-	-	-
令和6年1月	1.95	-0.16	1.42	-0.03	1,057	-3.3	660	5.6	-	-	-	-
2月	2.09	0.21	1.39	-0.06	1,044	-0.8	649	9.2	56.5	40.4	43.8	52.4
3月	1.81	0.07	1.33	-0.01	974	-9.4	729	1.8	-	-	-	-
4月	1.46	-0.04	1.20	0.05	1,045	-3.5	696	4.9	-	-	-	-
5月	1.69	0.08	1.14	0.04	1,100	-8.5	720	2.5	54.7	42.3	40.0	51.1
6月	1.72	-0.19	1.10	-0.03	1,135	-7.6	685	4.9	-	-	-	-
7月	2.19	0.15	1.17	-0.01	1,234	-1.9	764	4.1	-	-	-	-
8月	1.95	-0.18	1.17	-0.05	1,181	-10.9	811	1.3	49.5	37.5	58.3	47.9
9月	1.76	-0.36	1.17	-0.09	1,185	-2.2	724	5.9	-	-	-	-
10月	1.95	-0.14	1.14	-0.18	1,217	-0.7	751	4.0	-	-	-	-
11月	2.18	-0.25	1.20	-0.18	1,081	-2.7	730	1.6	49.0	45.0	43.8	48.1
12月	2.31	-0.06	1.25	-0.16	1,087	3.6	708	-1.6	-	-	-	-
令和7年1月	2.03	0.08	1.26	-0.16	1,063	0.6	660	-0.1	-	-	-	-
2月	2.10	0.01	1.26	-0.13	1,006	-3.6	611	-5.8	49.0	44.4	43.8	48.0
3月	1.60	-0.21	1.18	-0.15	1,001	2.8	714	-2.2	-	-	-	-
4月	1.36	-0.10	1.04	-0.16	1,048	0.3	675	-3.0	-	-	-	-
5月	1.75	0.06	1.03	-0.11	1,083	-1.5	709	-1.5	41.3	37.5	41.7	40.6
6月	1.77	0.05	1.04	-0.06	1,200	5.7	673	-1.6	-	-	-	-
出典：	ハロワークいわき（年間倍率は年度ベースの値）						株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部		いわき市産業戦略課（H30.1調査開始）景気ウォッチャー（いわき市民）に景気の先行きを質問。良くなる（1点）、不変（0.5点）、悪く（0点）に回答者構成比を乗じて指数を算出。			

2 いわき市の景気の動き（景気動向指数）（令和7年第Ⅱ四半期（4～6月）の状況）

（１）ＣＩ（コンポジット・インデックス）

① 概要

6月のCIは、先行指数が120.9、一致指数が149.7、遅行指数が137.1となった。

② 指数別の動向（指数は令和2年の水準を100とする）

【先行指数】 6月は120.9ポイントで、2ヵ月連続で上昇した。

寄与度がプラスの指標は、新設住宅着工戸数（3ヵ月振り）、建築確認申請受付件数（2ヵ月連続）等の5指標、マイナスの指標は、新規求人倍率（3ヵ月振り）、中小企業DI（全業種）（3ヵ月振り）等の3指標であった。

【一致指数】 6月は149.7ポイントで、5ヵ月振りに低下した。

寄与度がプラスの指標は、観光施設利用者指数（3ヵ月連続）、大型小売店等販売額（2ヵ月連続）等の5指標、マイナスの指標は、いわき市中小企業融資残高（5ヵ月振り）、鉱工業出荷指数（3ヵ月振り）等の4指標であった。

【遅行指数】 6月は137.1ポイントで、2ヵ月連続で低下した。

寄与度がプラスの指標は、いわき市中小企業融資利率（2ヵ月振り）、法人市民税調定額（2ヵ月連続）等の3指標、マイナスの指標は、いわき市中央卸売市場取扱高（2ヵ月振り）、雇用保険受給者実人員（逆）（2ヵ月連続）等の4指標であった。

※ＣＩの変化の大きさは景気の勢い（テンポ）を示す。

③ 指数の推移及び寄与度の内訳（ＣＩの上昇・下降がどの指標により引き起こされたか）（令和2年=100）

区 分		令和6年						令和7年					
		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
先 行 指 数（Ｃ．Ｉ）		127.7	124.1	123.4	121.1	123.3	121.4	128.0	132.7	123.4	115.4	120.2	120.9
前月差(ポイント)（寄与度合計）		11.65	-3.52	-0.71	-2.33	2.2	-1.88	6.55	4.76	-9.28	-8.04	4.76	0.73
先行 系列 寄与 度 内 訳	1. 自動車新規登録台数	3.75	-0.75	-0.05	-0.72	-1.38	-0.98	0.10	1.24	-1.54	0.26	1.91	0.68
	2. 新設住宅着工戸数	-2.03	2.04	-0.90	-3.53	2.51	-0.24	0.98	1.27	2.31	-4.05	-2.16	2.40
	3. 建築確認申請受付件数	3.78	0.22	-1.07	0.10	-0.97	0.12	3.24	-1.54	-0.79	-4.91	2.31	1.16
	4. 鉱工業在庫率指数（逆）	0.80	-1.53	1.34	-0.99	1.24	0.24	-0.58	1.57	-2.87	-1.29	2.05	-0.03
	5. 中小企業DI（全業種）	0.08	0.08	2.06	0.03	0.03	-0.85	0.13	0.13	-1.72	0.07	0.07	-1.54
	6. 新規求人倍率	4.82	-2.93	-2.54	2.17	0.32	-0.60	2.22	1.74	-5.07	1.39	2.62	-2.58
	7. いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	-0.06	-1.18	-0.04	-0.04	0.02	-0.04	-0.04	-0.10	-0.08	-0.08	-2.63	0.03
	8. 一致指数トレンド成分	0.50	0.53	0.48	0.64	0.43	0.46	0.52	0.44	0.50	0.56	0.58	0.62
一 致 指 数（Ｃ．Ｉ）		149.2	150.1	147.3	145.4	145.7	144.1	140.9	142.2	146.3	147.2	149.7	149.7
前月差(ポイント)（寄与度合計）		-0.53	0.96	-2.81	-1.93	0.32	-1.64	-3.22	1.36	4.08	0.94	2.51	-0.04
一 致 系 列 寄 与 度 内 訳	1. 公共工事受注額	0.14	0.35	0.84	-1.69	-0.67	-0.75	-1.05	0.17	2.65	0.13	-0.22	-1.86
	2. 観光施設利用者指数	-0.01	0.35	0.05	-0.43	0.40	-0.80	1.08	-0.08	-0.58	0.04	0.22	0.67
	3. 大型小売店等販売額	-2.73	1.71	-1.20	0.20	0.76	-0.76	1.03	-0.07	1.46	-0.63	0.12	0.58
	4. 鉱工業生産指数	-1.54	1.15	-0.25	0.83	-1.09	1.39	-2.60	0.92	1.15	-0.72	0.73	0.54
	5. 鉱工業出荷指数	-0.26	-0.17	0.58	-0.61	0.61	0.95	-2.61	1.02	-0.85	1.11	0.55	-0.16
	6. 小名浜港輸入通関実績	-0.12	0.30	-0.25	0.59	-0.28	0.21	1.25	-0.78	-0.27	0.12	0.20	0.57
	7. いわき市中小企業融資残高	2.61	-1.28	-2.76	0.53	1.02	-1.41	-1.06	0.14	1.44	1.05	0.02	-0.50
	8. 有効求人倍率	0.98	-0.56	-0.30	-1.24	0.10	0.09	0.21	0.61	-0.57	-0.25	0.84	-0.07
	9. 高速道路出入交通量	0.39	-0.90	0.50	-0.13	-0.53	-0.56	0.55	-0.56	-0.35	0.09	0.04	0.18
遅 行 指 数（Ｃ．Ｉ）		134.7	136.8	133.9	135.7	140.3	142.0	133.4	131.8	136.8	140.2	137.6	137.1
前月差(ポイント)（寄与度合計）		-3.20	2.14	-2.97	1.84	4.59	1.66	-8.57	-1.60	4.99	3.45	-2.59	-0.49
遅 行 系 列 寄 与 度 内 訳	1. 入湯税調定人員	2.02	0.55	-0.85	-0.36	0.68	-1.22	-1.12	0.67	-0.24	1.35	-0.59	-0.98
	2. いわき市中央卸売市場取扱高	0.40	-4.24	4.05	-1.14	2.97	-1.09	-0.26	-0.09	-1.28	-0.64	1.97	-1.38
	3. 鉱工業在庫指数	-1.91	2.20	-1.43	0.59	-1.32	1.04	-4.43	-0.66	2.63	3.75	-2.54	-0.33
	4. いわき市中小企業融資利率	-4.24	1.17	-3.01	4.10	1.99	1.83	-4.30	-1.05	0.45	1.92	-3.12	2.61
	5. 法人市民税調定額	1.08	-0.23	0.78	-1.19	-0.67	1.18	0.09	-0.61	3.11	-4.23	1.24	0.22
	6. 雇用保険受給者実人員（逆）	-1.12	2.12	-3.05	-0.86	0.46	-0.61	0.87	-0.32	-0.19	0.66	-0.23	-1.34
	7. 一致指数トレンド成分	0.56	0.57	0.53	0.70	0.48	0.53	0.57	0.45	0.52	0.65	0.68	0.70

注1) C Iはトレンド（長期的趨勢）と、トレンド周りの変化を合成し作成される。

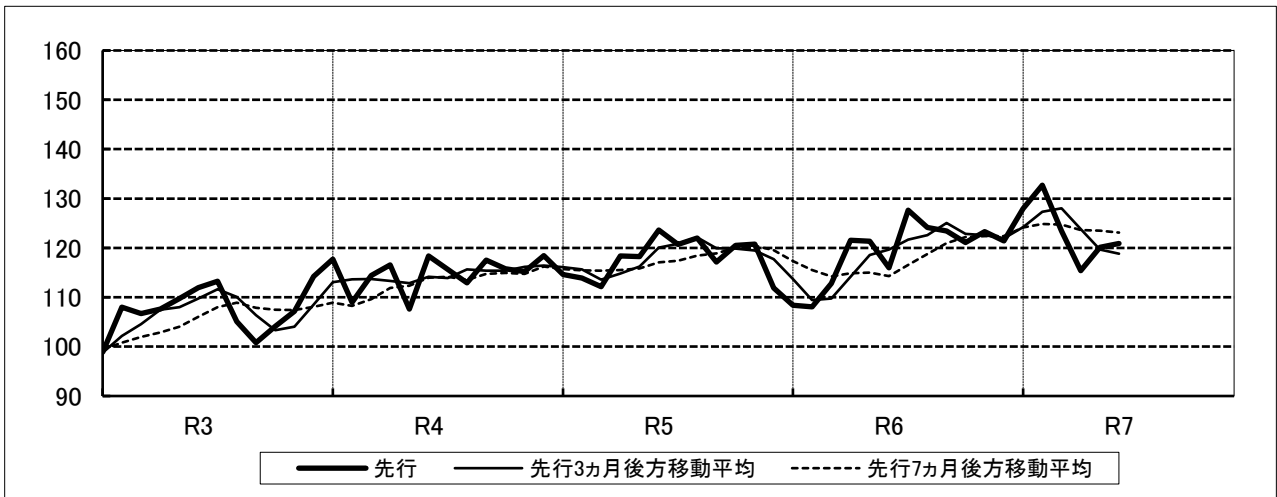
2) 一致指数トレンド成分とは、一致指数の長期的趨勢が先行指数、遅行指数に与えた影響を示す。

3) 寄与度とは、指数の変化にそれぞれの指標がどの程度の影響を与えたかを示す。

④ CIの推移

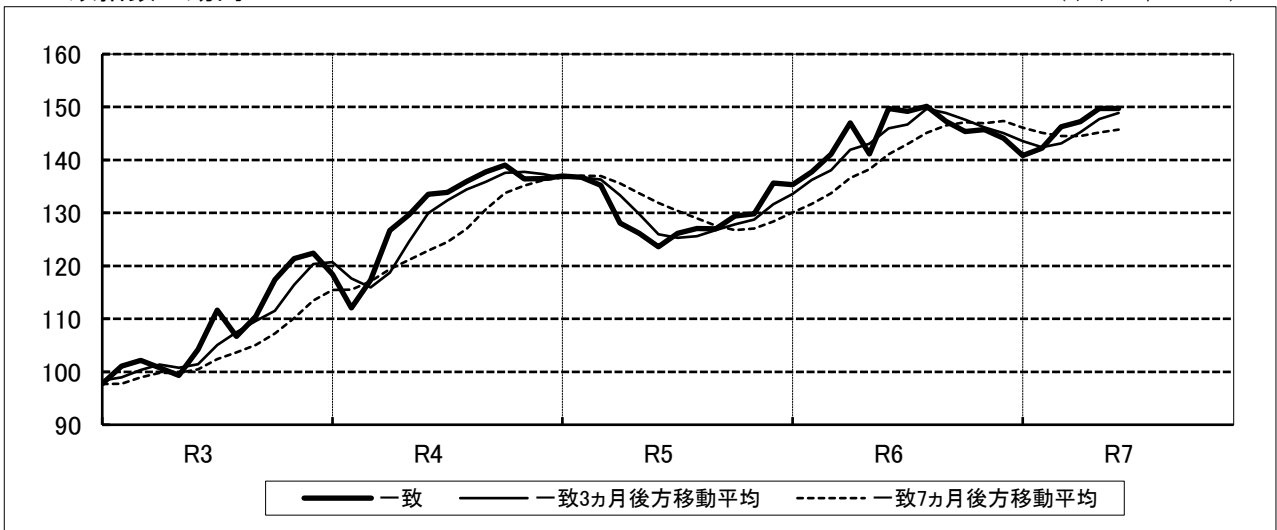
・先行指数の推移

(令和2年＝100)



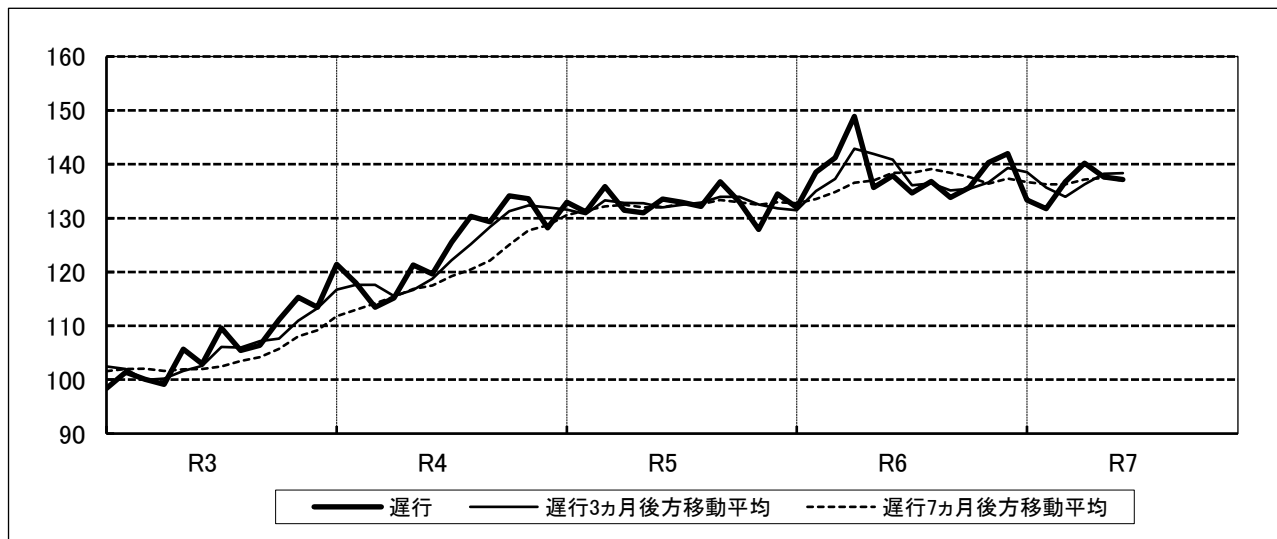
・一致指数の動向

(令和2年＝100)



・遅行指数の動向

(令和2年＝100)



⑤ CIデータ

・先行指数

(令和2=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
28	120.6	113.6	106.6	115.5	114.4	108.7	116.1	110.3	105.1	111.1	110.6	114.8
29	108.9	112.4	113.6	116.6	113.6	122.0	113.8	120.3	122.9	114.6	114.1	120.7
30	118.3	115.2	112.4	114.0	115.4	115.1	114.3	112.7	108.4	111.7	116.7	113.1
1	110.7	116.9	114.8	111.1	113.2	113.7	108.7	109.1	110.8	103.1	103.2	109.3
2	109.1	106.7	102.7	94.8	94.6	94.8	98.4	98.9	101.2	101.4	97.9	99.6
3	98.9	108.0	106.7	107.6	109.7	111.9	113.2	105.1	100.8	104.1	107.2	114.2
4	117.7	109.0	114.4	116.6	107.6	118.4	115.7	112.9	117.5	115.8	115.2	118.4
5	114.6	113.9	112.2	118.4	118.2	123.6	120.7	122.0	117.1	120.5	120.8	111.9
6	108.4	108.0	112.8	121.6	121.3	116.0	127.7	124.1	123.4	121.1	123.3	121.4
7	128.0	132.7	123.4	115.4	120.2	120.9						

・一致指数

(令和2=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
28	134.1	132.6	124.2	128.2	123.9	128.3	129.7	124.9	128.6	134.6	138.4	140.0
29	136.6	136.5	137.7	136.2	137.5	136.0	129.7	131.4	129.8	126.7	129.2	133.0
30	127.6	126.2	123.0	120.6	120.6	115.1	114.4	114.8	115.0	112.6	109.1	106.3
1	106.9	109.2	111.3	113.5	110.3	109.2	105.3	109.0	108.8	102.4	109.4	109.0
2	108.8	108.7	105.0	98.8	96.0	96.7	100.5	93.8	95.0	99.4	99.2	98.1
3	97.7	101.1	102.2	100.8	99.3	104.2	111.6	106.7	110.4	117.4	121.4	122.4
4	118.4	112.1	117.3	126.7	129.7	133.5	133.9	136.0	137.8	139.0	136.4	136.5
5	137.0	136.7	135.2	128.1	126.1	123.6	126.1	127.1	127.0	129.4	129.9	135.6
6	135.3	137.8	141.1	147.0	141.2	149.7	149.2	150.1	147.3	145.4	145.7	144.1
7	140.9	142.2	146.3	147.2	149.7	149.7						

・遅行指数

(令和2=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
28	139.6	145.3	139.3	137.7	134.6	132.3	131.8	133.8	130.6	133.3	129.2	127.7
29	131.8	122.5	128.4	124.0	118.4	117.5	116.5	113.4	118.5	115.0	117.8	121.1
30	114.7	115.0	120.9	117.8	125.3	120.8	117.4	117.8	121.9	117.8	114.8	111.6
1	112.8	110.7	109.4	105.0	102.8	105.9	104.4	107.1	101.0	102.3	101.2	97.4
2	101.4	100.0	99.4	96.6	96.6	93.3	98.6	99.6	102.2	103.5	102.8	106.1
3	98.4	101.4	100.1	99.1	105.7	102.9	109.6	105.4	106.4	111.1	115.3	113.4
4	121.4	118.0	113.5	115.2	121.3	119.6	125.5	130.3	129.3	134.2	133.6	128.2
5	132.9	131.1	135.8	131.4	131.0	133.6	132.9	132.1	136.8	133.0	127.9	134.5
6	132.0	138.6	141.2	148.9	135.7	137.9	134.7	136.8	133.9	135.7	140.3	142.0
7	133.4	131.8	136.8	140.2	137.6	137.1						

(2) DI (デフュージョン・インデックス)

① 概要

【先行指数】 6月は、42.9%と4ヵ月連続で50%を下回った。

【一致指数】 6月は、88.9%と3ヵ月連続で50%を上回った。

【遅行指数】 6月は、66.7%と3ヵ月連続で50%を上回った。

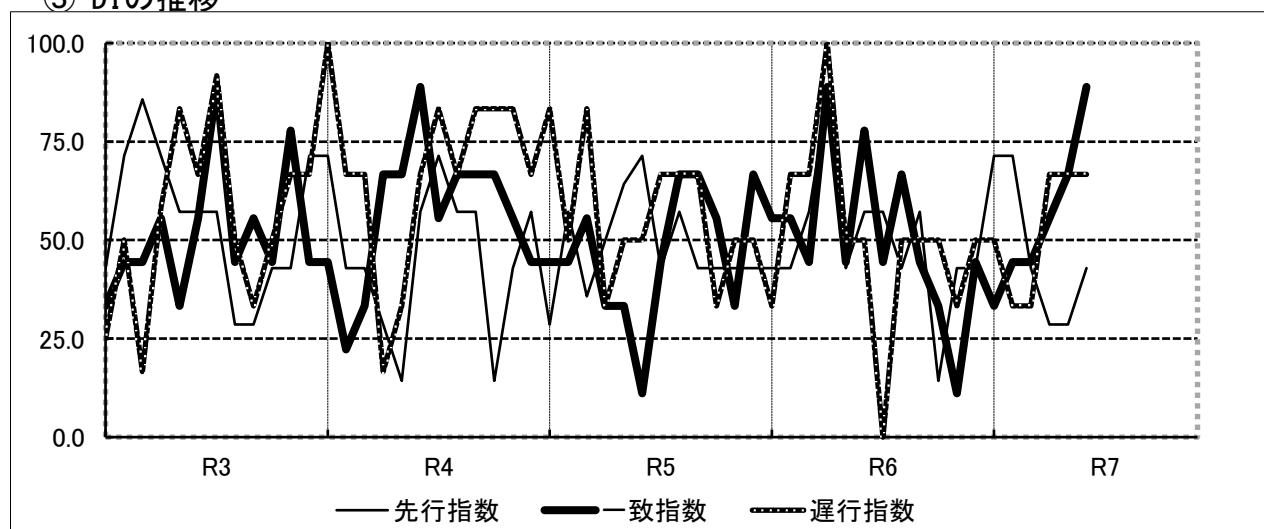
(注) 各指数とも50%が景気の拡張期と後退期との境目とされる (←景気動向指数利用の手引き-参照)

② DIの推移

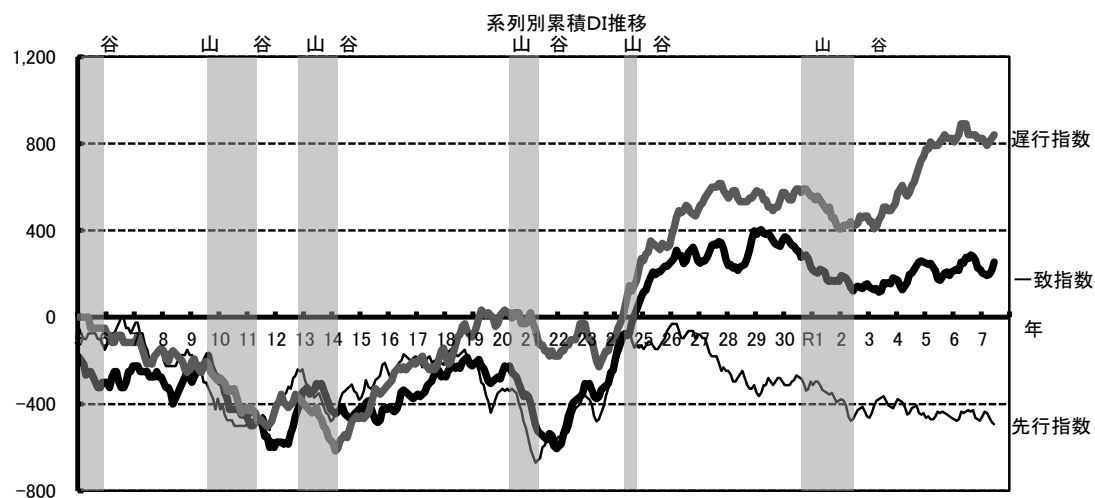
区 分	令和6年						令和7年					
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
先 行 指 数 (D . I)	57.1	42.9	57.1	14.3	42.9	42.9	71.4	71.4	42.9	28.6	28.6	42.9
一 致 指 数 (D . I)	44.4	66.7	44.4	33.3	11.1	44.4	33.3	44.4	44.4	55.6	66.7	88.9
遅 行 指 数 (D . I)	0.0	50.0	50.0	50.0	33.3	50.0	50.0	33.3	33.3	66.7	66.7	66.7

注)DIは、先行(7指標)、一致(9指標)、遅行(6指標)に属する各経済指標について、3ヵ月前と比較して改善している指標の割合を指数としている。

③ DIの推移



(参考) 累積DIの推移 (平成5年以降)



注1) 累積指数は、基準月 (平成5年1月) の値を0として各月のDIの値を次式により累積したものである。

累積DI(t)=累積DI(t-1)+(DI(t)-50)

注2) DI及び累積DIは景気の方向性のみを表すものであり、その水準や振幅の大きさは景気動向と無関係である。

注3) グラフでは各指数の動きを見やすくするため、一致指数に-200を加算してある。

注4) 影の部分は国における景気後退期を示す。

-景気動向指数利用の手引き-

(1) 景気動向指数の概要

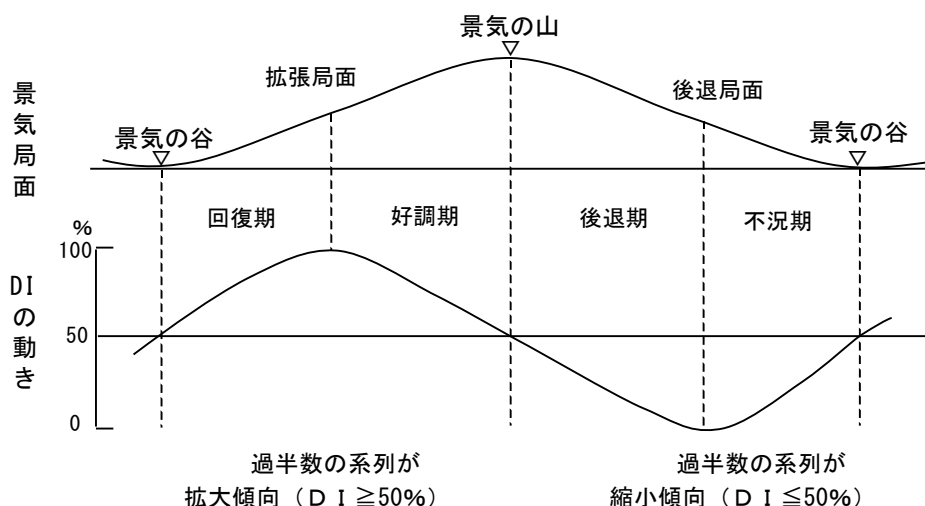
- 景気動向指数は、景気の勢いや方向性を知るために、景気の動きを敏感に反映する経済指標を組み合わせ作成された総合的な経済指標である。景気の勢いを示すC I（コンポジット・インデックス）と、景気の方方向性を示すD I（ディフュージョン・インデックス）の2種類の指数があり、両者の動きを総合して景気の現状把握や将来予測等を行う。
- C I、D Iはともに、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3種類の指数を作成する。一致指数は景気の現状把握に利用する。先行指数は景気の動きを予測するために利用する。遅行指数は景気の転換点や局面の確認に利用する。

(2) C I（コンポジット・インデックス Composite Index）の概要

- C Iは複数の経済指標の前月と比べた変化量を合成したものである。例えば、いわき市のC Iでは、大型小売店等販売額等9つの経済指標の変化量を合成して一致指数を作成している。
（詳細な計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページ <http://www.esri.cao.go.jp/ip/stat/di/menu di.html>を参照）。
- C Iの変化の大きさは景気のテンポ（勢い）を示す。景気の拡大期にはC Iが上昇傾向を示し、後退期には下降傾向を示す。ただし、C Iは上昇・下降を繰り返しながら変化するため、景気局面の判断はD Iを含めた総合的な指標によって判断する。

(3) D I（ディフュージョン・インデックス Diffusion Index）の概要

- D Iは、複数の経済指標の変化方向を合成したものである。採用指標の各月の値を3ヵ月前の値と比較して、改善した指標の割合がD Iとなる。例えば、いわき市の一致指数では9つの指標を採用するため、そのうち3つが改善したならば $3 \div 9 \div 0.333$ (DI=33.3%) と計算する。
- 一般に、50%を上回っているときに景気の拡張局面、50%を下回っているときに後退局面、50%を上から下に切るときが景気の山、50%を下から上に切るときが景気の谷とされる。



(4) 景気基準日付

景気の山・谷（拡張局面と後退局面との転換点）を景気基準日付と呼ぶ。この景気基準日付は、D Iの動きのほか、他の主要経済指標の動きなども総合的に勘案して設定されるが、国では以下のように定めている。

景気基準日付（全国）

区分	谷	山	谷	区分	谷	山	谷
第1循環		S26. 6.	S26. 10.	第9循環	S52. 10.	S55. 2.	S58. 2.
第2循環	S26. 10.	29. 1.	29. 11.	第10循環	58. 2.	60. 6.	61. 11.
第3循環	29. 11.	32. 6.	33. 6.	第11循環	61. 11.	H 3. 2.	H 5. 10.
第4循環	33. 6.	36. 12.	37. 10.	第12循環	H 5. 10.	9. 5.	11. 1.
第5循環	37. 10.	39. 10.	40. 10.	第13循環	11. 1.	12. 11.	14. 1.
第6循環	40. 10.	45. 7.	46. 12.	第14循環	14. 1.	20. 2.	21. 3.
第7循環	46. 12.	48. 11.	50. 3.	第15循環	21. 3.	24. 3.	24. 11.
第8循環	50. 3.	52. 1.	52. 10.	第16循環	24. 11.	30. 10.	R2. 5.

(5) いわき市の景気動向指数採用系列の概要

項 目			内 容	原データの出典
先行系列	1 自動車新規登録台数	季	代表的な耐久消費財である自動車の販売動向を示し、いわき市における消費動向が反映されている。	いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所
	2 新設住宅着工戸数	季	住宅への投資動向を表す。住宅投資の増加は建設資材需要や家具の買替え需要などの波及効果をもたらす。	福島県土木部
	3 建築確認申請受付件数	季	住宅を含む建設投資動向が反映される。家計の動向のみならず、企業等の景気見通しに影響される。	いわき市建築指導課
	4 鉱工業在庫率指数(逆)	季	鉱工業在庫指数/出荷指数により算出。景気回復局面に低下、悪化局面に上昇する。	福島県企画調整部
	5 中小企業DI(全業種)	原	企業経営者の景況感を指標化したもの。増加(好転)企業割合ー減少(悪化)企業割合により算出。企業の生産・投資活動との関連性が高い。0が横ばい(または景気の転換点)の水準。	福島県産業振興センター
	6 新規求人倍率	季	月間新規求人数/月間新規求職者数で算出。労働需給の変化が敏感に反映され、特に景気の山の判定に活用される。	ハローワーク平
	7 いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	原	市内の様々な職種の景気ウォッチャーの方々の生活実感を指数化したもの。50が横ばい(もしくは景気の転換点)の水準。	いわき市産業チャレンジ課
一致系列	1 公共工事受注額	移	いわき市内における公共工事の受注高。	いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部
	2 観光施設利用者指数	季	いわき市内の主要観光施設の利用者数。平成25年第Ⅰ四半期を100として指数化したもの。	いわき市産業チャレンジ課
	3 大型小売店等販売額	前	いわき市内の主要な大型小売店舗の販売額であり、本調査のため、いわき市独自で調査したデータ。	いわき市産業チャレンジ課
	4 鉱工業生産指数	季	鉱工業部門の生産数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	5 鉱工業出荷指数	季	鉱工業部門の出荷数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	6 小名浜港輸入通関実績	季	小名浜港を通関して輸入された貨物の金額。工業用原材料が多くを占める。	横浜税関
	7 いわき市中小企業融資制度融資残高	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資残高であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業チャレンジ課
	8 有効求人倍率	季	月間有効求人数/月間有効求職者数で算出され、労働需給が反映される。	ハローワーク平
	9 高速道路出入交通量	季	いわき市内インターにおける車両の出入交通量。	株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部
遅行系列	1 入湯税調定人員	季	いわき湯本をはじめとする市内の温泉利用者数。観光客数の動向が反映されている。	いわき市市民税課
	2 いわき市中央卸売市場取扱高	季	いわき市中央卸売市場の青果部、水産部における取扱高。飲食需要が反映され、その増減に景気の動きが反映される。	いわき市中央卸売市場
	3 鉱工業在庫指数	季	鉱工業部門の在庫数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	4 いわき市中小企業融資制度融資利率	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資利率であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業チャレンジ課
	5 法人市民税調定額	季	企業の所得変動を税収面から捉えた指標であり、過去1年間の経済活動の状況が反映される。	いわき市市民税課
	6 雇用保険受給者実人員(逆)	季	失業給付を受けている有効失業者数であり、景気に遅行し逆サイクルで動く。	ハローワーク平

注) 季: X-13ARIMA-SEATSによる季節調整値、前: 原数値の前年同月比、原: (四半期) 原数値、移: 12ヵ月移動平均

逆: 景気の上昇期に減少(低下)し、下降期に増加(上昇)するもの。

【参考】国・県の動き

1 経済・景気の動向

(1) 国の動向	(我が国経済の基調判断) 景気は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、緩やかに回復している。 ・個人消費は、消費者マインドの改善に遅れがみられるものの、雇用・所得環境の改善の動きが続く中で、持ち直しの動きがみられる。 ・設備投資は、持ち直しの動きがみられる。 ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。 ・生産は、横ばいとなっている。 ・企業収益は、米国の通商政策等による影響が一部にみられる中で、改善に足踏みがみられる。企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっている。 ・雇用情勢は、改善の動きがみられる。 ・消費者物価は、上昇している。 先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要である。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要がある。 (内閣府「月例経済報告」令和7年8月公表分)
(2) 県の動向	県内の景気は、足踏み状態となっている。 ・個人消費……一部に持ち直しの動きがみられる。 ・建設需要……弱い動きがみられる。 ・生産活動……一進一退の状況が続いている。 ・雇用・労働……弱い動きがみられる。 ・物 価……企業物価指数、消費者物価指数はともに前年を上回っている。 ・企業・金融……企業倒産件数は前年を下回り、負債総額は前年を上回った。預金残高は前年を下回り、貸出残高は前年を上回った。 (福島県「最近の県経済動向」令和7年8月公表分)

2 景気動向指数(CI)

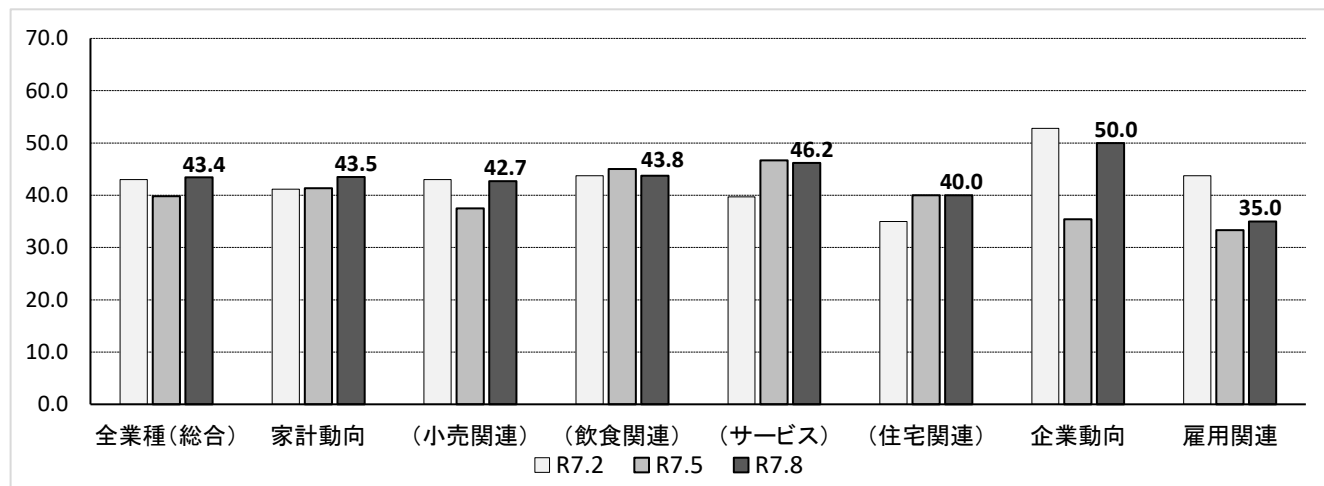
(1) 国の動向	① 6月のCI(速報値・令和2(2020)年=100)は、先行指数:106.1、一致指数:116.8、遅行指数:112.0となった。 先行指数は、前月と比較して1.3ポイント上昇し、2ヵ月連続の上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.50ポイント下降し、4ヵ月連続の下降となった。7ヵ月後方移動平均は0.23ポイント下降し、3ヵ月連続の下降となった。 一致指数は、前月と比較して0.8ポイント上昇し、2ヵ月ぶりの上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.34ポイント上昇し、4ヵ月ぶりの上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.23ポイント上昇し、11ヵ月連続の上昇となった。 遅行指数は、前月と比較して1.5ポイント下降し、4ヵ月ぶりの下降となった。3ヵ月後方移動平均は0.33ポイント上昇し、9ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.40ポイント上昇し、17ヵ月連続の上昇となった。 ② 一致指数の基調判断 景気動向指数(CI一致指数)は、下げ止まりを示している。 (内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」令和7年8月公表分)
(2) 県の動向	1 概 括 6月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス、R2年=100)は、先行指数111.7ポイント、一致指数112.2ポイント、遅行指数109.3ポイントとなった。 先行指数は、前月(110.3ポイント)を1.4ポイント上回り、2ヵ月連続の上昇となった。 一致指数は、前月(117.6ポイント)を5.4ポイント下回り、2ヵ月振りの下降となった。 遅行指数は、前月(112.8ポイント)を3.5ポイント下回り、2ヵ月振りの下降となった。 2 一致指数の動向 寄与度がプラスの系列 生産財出荷指数、鉱工業生産指数、最終需要財出荷指数、百貨店・スーパー販売額(既存店) 寄与度がマイナスの系列 雇用保険受給者実人員、建築着工床面積(鉱工業)、所定外労働時間指数(全産業)、有効求人倍率 (福島県「福島県景気動向指数」令和7年8月公表分)

Ⅱ いわき市景気ウォッチャー調査：令和7年8月時点

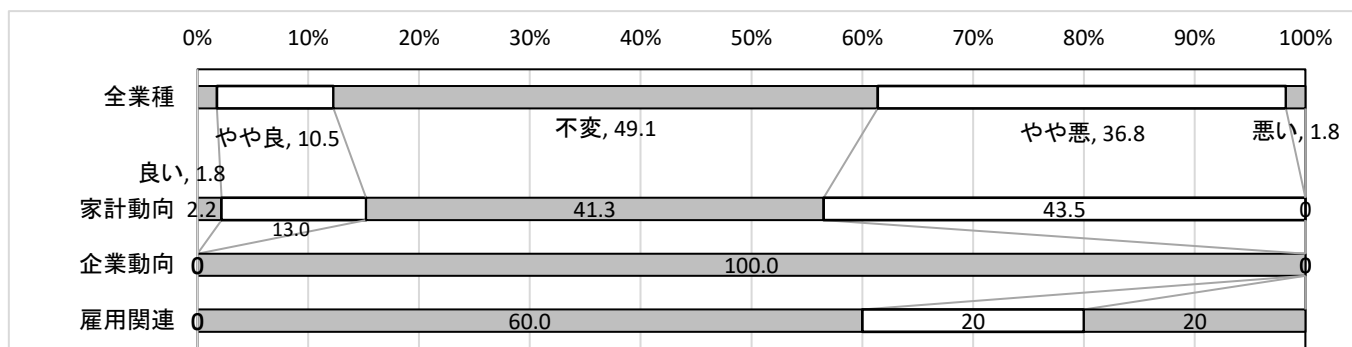
1 景気の現状について

(1) 現状判断DI

- 全業種（総合）の現状判断DIは43.4と、前回より3.6ポイント上昇した。内訳では、家計動向、企業動向、雇用関連のすべて上昇した。
- 主要業種別では、家計動向が43.5と前回より2.2ポイント上昇した。家計の内訳では、小売が上昇し、飲食、サービスが低下した。企業動向は50.0と14.6ポイント上昇し、雇用関連は35.0と1.7ポイント上昇した。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、3ヵ月前と比べて「良くなっている」は1.8%であり、「やや良くなっている」が10.5%、「変わらない」が49.1%、「やや悪くなっている」が36.8%、「悪くなっている」が1.8%となった。



(2) 現状判断の理由

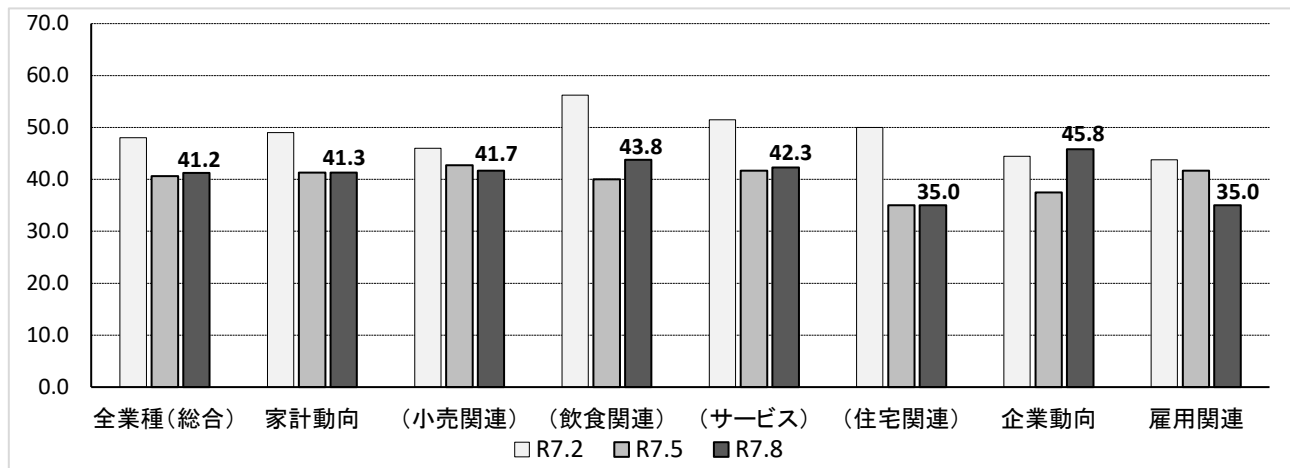
現状判断の理由として、家計動向では「来客者数の動き」、企業動向では「受注量や販売量」「取引先の様子」、雇用関連では「求職者数の動き」「周辺企業の動き」などが挙げられた。

項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	2	11	7	20	1. 受注量や販売量	0	3	0	3	1. 求人数の動き	0	0	1	1
2. 販売量の動き	4	3	4	11	2. 受注価格や販売価格	0	0	0	0	2. 求職者数の動き	0	2	0	2
3. 単価の動き	0	1	1	2	3. 取引先の様子	0	3	0	3	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	0	3	8	11	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	0	1	1	2
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	0	0	0	5. その他	0	0	0	0
6. その他	1	1	0	2										
合計	7	19	20	46	合計	0	6	0	6	合計	0	3	2	5

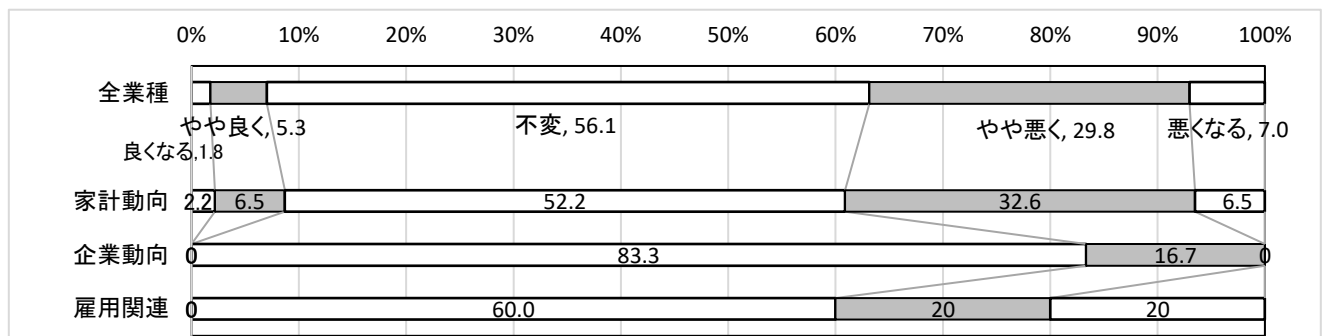
2 景気の先行きについて

(1) 先行き判断DI

- 全業種（総合）の先行き判断DIは41.2と、前回より0.6ポイント上昇した。内訳では、企業動向が上昇し、雇用関連が低下した。
- 主要業種別では、家計動向が41.3とほぼ同水準であった。家計の内訳では、飲食、サービスが上昇し、小売が低下した。企業動向は45.8と8.3ポイント上昇し、雇用関連は35.0と前回より6.7ポイント低下した。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、2～3ヵ月先には「良くなる」は1.8%であり、「やや良くなる」が5.3%、「変わらない」が56.1%、「やや悪くなっている」が29.8%、「悪くなっている」が7%となった。



(2) 先行き判断の理由

先行き判断の理由として、家計動向では「来客者数の動き」、企業動向では「受注量や販売量」、雇用関連では「周辺企業の動き」などが挙げられた。

項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	3	14	5	22	1. 受注量や販売量	0	3	1	4	1. 求人数の動き	0	1	0	1
2. 販売量の動き	1	4	2	7	2. 受注価格や販売価格	0	0	0	0	2. 求職者数の動き	0	1	0	1
3. 単価の動き	0	1	2	3	3. 取引先の様子	0	2	0	2	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	0	4	6	10	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	0	1	2	3
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	0	0	0	5. その他	0	0	0	0
6. その他	0	1	3	4										
合 計	4	24	18	46	合 計	0	5	1	6	合 計	0	3	2	5

3 市内景気に関する自由意見

(アンケート自由意見欄にご記入頂いた内容。
記入された方が特定される情報等は割愛させていただきました。
また、同種のご意見はまとめさせていただきました。)

(需要・来客の減少と気候要因)

- 空き店舗も増える一方、連日の猛暑により人出もなく、物販小売商店は今後どのようにしていけば良いのか？
- 猛暑で夏休み中でも子供達の動きも見えない。
- 来店客数、客単価が落ちている。
- アパレル販売は季節に変動がある。

(経済環境・市内事業者への懸念)

- この2～3ヵ月を見ると、大きな変化はないと感じているが、ネットニュースなどは破産等の話題も多く、この傾向がいわき市でも起こる可能性があるのではないか、という懸念はある。
- 経営改善計画策定支援事業（405事業）の事業者のモニタリング不可（決算を2年間行っていない）、法人化事業者の1期も決算を行えず法人閉鎖などの情報もあり、2～3ヵ月後というよりはもう少し先に景気低迷が事業者に起こるのではないかと個人的には思っている。
- 最低賃金の大幅アップの影響、事業コストの大幅上昇等の悪条件に対し、対応力ある企業がどれだけ市内にいるか、経営力が試される。
- 市内景気動向を左右するのは個々の企業力、経営力の持続性、革新性に委ねられており、従前のように国とか都会の全体的な景気動向による要因は減っている。

(コスト増・収益圧迫)

- 原材料高騰、人件費その他経費増加で利益圧迫状態の現状にもかかわらず最低賃金アップで更なる利益縮小が懸念される。
- 物価が上がって原料が上がってやりにくい。
- 物価高に苦しんでいる。

－ いわき市景気ウォッチャー調査の概要 －

(1) 調査の目的

市内の家計動向関連、企業動向関連、雇用関連の事業所等で働く市民の方々を対象にアンケートを実施することにより、いわきの街角景気及びその変化を迅速かつ的確に把握する。

(2) 調査客体及び有効回答率

家計動向関連72人、企業動向関連22人、雇用関連8人の合計102人を調査客体とする。

今回（令和7年2月）の調査の回答数は57人（有効回答率55.9%）である。

分野	調査客体	構成比	有効回答数	業種
家計動向関連	72人	71%	46人	
小売関連	31人	30%	24人	小売店、スーパー、コンビニ等
飲食関連	8人	8%	4人	居酒屋、ファーストフード等
サービス関連	24人	24%	13人	タクシー、ホテル、観光施設等
住宅関連	9人	9%	5人	工務店、不動産販売・仲介・賃貸等
企業動向関連	22人	22%	6人	広告、ビル管理、警備、会計等
雇用関連	8人	8%	5人	人材派遣、職業紹介等
合 計	102人	100%	57人	

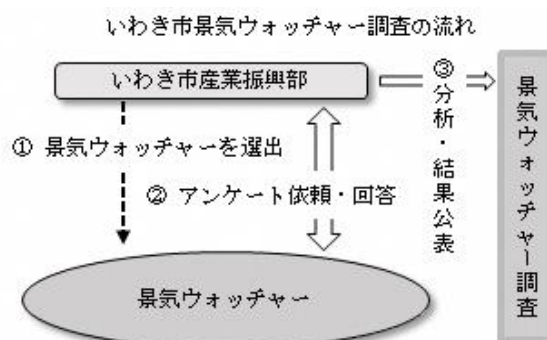
(3) 調査客体

次の事項について、毎年2月、5月、8月、11月に調査を実施する。

- 1) 景気の現状に対する判断（方向性）とその理由
- 2) 景気の先行きに対する判断（方向性）とその理由

(4) 調査方法

いわき市産業チャレンジ課において景気ウォッチャーを任命し、調査を実施する。調査票の配付・回収・結果の分析は産業チャレンジ課と外部調査機関（株式会社システムプランニング）が協力して行う。調査結果は、産業チャレンジ課が原則として調査の翌月に公表する。



(5) D I の算出方法と見方

景気の現状や先行きに対する判断を次の5段階に区分し、各回答区分の構成比（%）に対して、対応する点数を乗じることにより D I を算出する。

D I は50が景気判断の分かれ目であり、50を上回れば景気の拡大局面、50を下回れば後退局面と判断する。

回答区分	現状判断 (3ヵ月前と比較)	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断 (3ヵ月後の見通し)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
点数		1	0.75	0.5	0.25	0

(6) 景気ウォッチャー調査票

調査票は、原則としてFAXまたはメールにより配付・収集を行う。

いわき市景気ウォッチャー調査票（令和 年度第 回）	
令和 年 月 日	
ご回答者	
ご所属・お名前 _____ 様	
あなたの身の回りの景気（仕事の状況や、仕事を通じて接するお客様の様子）についてご回答ください。	
該当項目を1つだけ選択し、番号に○をしてください。例：① 良くなっている。	
【質問1】 今月の景気は3ヵ月前と比べて、良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなっている 2 やや良くなっている 3 変わらない 4 やや悪くなっている 5 悪くなっている
【質問2】 質問1のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
【質問3】 あなたの仕事の状況やお客様の様子からみて、2～3ヵ月先は、今月より良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなる 2 やや良くなる 3 変わらない 4 やや悪くなる 5 悪くなる
【質問4】 質問3のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
【自由回答（市内景気動向に関して）】 	

※質問2、4について、上記は家計動向関係向けの選択肢の内容。

企業動向関係、雇用関係向けの選択肢の内容は次の通り。

企業動向関係

- 1 受注量や販売量の動き
- 2 受注価格や販売価格の動き
- 3 取引先の様子
- 4 競争相手の様子
- 5 それ以外

雇用関係

- 1 求人数の動き
- 2 求職者数の動き
- 3 採用者の動き
- 4 周辺企業の動き
- 5 それ以外

編集・発行 いわき市 産業振興部 産業チャレンジ課
〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地
電 話 0 2 4 6 - 2 2 - 7 4 7 6 (直通)
e-mail : sangyochallenge@city.iwaki.lg.jp
